

指定校番号	28095	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長	住元 康男	生徒指導主事	島 博明
-----	-----------	----	-------	--------	------

取組事例名 『縦割りでの運動会』

取組のねらい『キーワード：生徒の力で』

・今年度から全学年が3クラスとなり、縦割りで行うことができた。そこで生徒自身が生徒の前に立ち、自分たちの力で練習、本番を進めることで達成感や自己肯定感の向上を図った。

取組の具体的内容『キーワード：リーダーを中心に』

・これまでも男子の組体操，女子のソーランは，3年生のリーダーが中心となり，技や構成の決定，練習内容の検討等を行ってきた。

・入場行進での良き姿勢を全体練習の3年生の実行委員を中心に各クラスが協力して，1・2年生に見せた。また，真剣に取り組むことの大切さを伝えた。

・全学年共通の種目で学年ごとに争う種目について3年生の実行委員が中心となり，練習方法やアドバイスを1，2年生に指導をした。



各団の結団式の様子

取組の課題・創意工夫『キーワード：丁寧に』

・各クラスの実態やリーダーの力量をもとに担当部会の教員が事前に練習の取組み方や練習で予想されること等の打ち合わせを行った。

また，この事前打ち合わせをもとに3年生の教員が中心となって実行委員の生徒と打ち合わせを行った。

・生徒の取組の様子を教員が丁寧に観察を行い，日々の練習後に教員が生徒の様子について連携を行い，翌日の練習の取組み方等について検討を行った。

・3年生が1・2年生にアドバイスをを行っていること等を教員が共有し，様々な教員が生徒に肯定的な評価を積極的に行った。



2, 3年生合同の練習風景

取組の成果（効果）『キーワード：引き継ぐ』

- ・ これまでも男子の組体操，女子のソーランの実行委員を希望する生徒はいたが，今年度の運動会終了後には，2年生の中から来年の団長を希望する声や来年度の運動会をどの様に成功させるかの具体的な意見が出されていた。
- ・ 11月に行われた文化祭での合唱練習では3年生が1年生に合唱を聞かせる等の取組を行い，めざす生徒像を先輩から学ぶことができた。
- ・ 1月に生徒会執行部が2年生に移行したが，今年度の行事での体験を生かして，2年生がリーダー性を発揮し，日頃の委員会活動を積極的に取組む準備ができています。



今後の展開『キーワード：生徒会活動』

- ・ 運動会の経験を生かして，2年生がリーダーとなり日々の生徒会各種委員会の活動を充実させて，新たな伝統を創っていく。
- ・ これまでも検討はされてきた清掃活動の縦割り班の導入や文化祭での合唱を縦割りで行う等，生徒会活動の一環として年間を通して，縦割り班を導入していく。

他校へのアドバイス『キーワード：積み重ね』

- ・ 教員による仕掛けを日頃から行い，リーダーを育成しつつ，生徒による生徒のための活動の成功体験を積み重ねていくことが重要と考えます。